

研究成果 3,000 字程度 (別紙添付可)	研究業績としては、以下のものがある。 ・春田吉備彦「副業(兼業)をめぐる法的問題」『Leadership Development Note』2019 年 5 月号(キャリアクリエイツ) 16 頁～17 頁。 ・春田吉備彦「裁判所が労働契約・労働条件通知書が策定されていない、労働契約内容を認定した事例 Apocalypse 事件(東京地裁平成 30 年 3 月 9 日労経速 2359 号 26 頁)」『労働法学会研究会報』第 2695 号(労働開発研究会) 26～31 頁。 ・春田吉備彦 長谷川珠子著『障害者雇用と合理的配慮(日本評論社、2018 年)』(書評)『日本労働研究雑誌』第 705 号(労働政策研究・研修機構) 353 頁～366 頁。 ・今野晴貴・藤田孝典編『関わなければ社会は壊れる(対決と創造)の労働・福祉運動論』(岩波書店)2019 年 6 月。 ・今野晴貴『ストライキ 2.0 ブラック企業と闘う武器』(集英社)2020 年 3 月。 公開講座としては、7 月 18 日、市民向け公開講座「子どもの貧困問題から大人の貧困問題へ」を沖縄大学 2 号館 213 教室で開催し、今野晴貴が登壇した。10 月 30 日、市民向け公開講座「ブラックバイトに立ち向かう!」を沖縄大学 3 号館 101 教室で開催し、今岡直之が登壇した。
--	---